

## 2022年度 第5回 西日本放送番組審議会

1. 開催年月日 2022年9月16日(金)締め切りによる書面開催
2. 委員総数 8名
3. 書面参加委員 8名

高嶋 克洋 委員長

佃 昌道 委員

森下 聖史 委員

片岡 雅子 委員

岡田 佳子 委員

古市 聖一郎 委員

多田 和仁 委員

宮崎 誠司 委員

## 2022年度第5回番組審議会議事次第

### 【議 題】

テレビ番組 『瀬戸内国際芸術祭 瀬戸芸ノススメ 2022』

放 送 日 2022年8月6日(土)16:00～16:55

制 作 RNC 西日本放送テレビ

### 【次回開催予定】

開 催 日 2022年10月18日(火)14:00～16:00

講 演

講師 日本テレビ放送網株式会社

報道局専門局長

小栗 泉 氏

演題 『 政治とメディア 』

## 【議事概要】

今回は、テレビ番組『瀬戸内国際芸術祭 瀬戸芸ノススメ 2022』を視聴していただきました。委員からは、何よりも、番組をつくる人たちが島にわたり、人と触れ合い、アートと触れ合う事によって、みんな笑顔で、楽しい番組が作れたのではないかと。

オリビアンのお卵の解説。終盤に視聴者に瀬戸芸の1つのメッセージを伝える内容となっており、番組のエンディングにはよかったのではないかと。

場所ごとに取材方法、取材者を変え、変化を出していることで飽きさせない工夫も観察された。しかし、コーナーごとに内容の濃淡、時間配分などでもう少し工夫の余地があったように感じた。瀬戸内国際芸術祭のアートの中心は何といても直島だが、この部分が非常にあっさりとしていて短く感じられた。

作品の紹介はもちろん、島を巡るための情報として、食や島での移動方法、休憩どころ、様々なプチ情報などまで網羅していることもよかった。瀬戸芸ノススメのテーマどおり、行ってみたくなる番組になっていると思う。

今回は、豊島、宇野、直島、小豆島の作品が、それぞれのエリア・島を分割して順番に紹介されていたが、少し見にくく感じた。一つの島の紹介が終わったら次の島の紹介…のような感じが分かり易いと思った。

秀逸だったのは小豆島をレポートしていたゆうさかなさん。非常に分かりやすく、語りも聞きやすくどこのエリアよりも深く作品やその背景について語ってくれたので、楽しく見ることが出来た。との意見がありました。

制作者からは、今回の番組コンセプトは「地元の人にこそ芸術祭を楽しんでほしい」に設定。暑い夏休みのひととき、ふらっと島に行ってみたい、と思っただくことを最大の目的にして、番組を構成いたしました。

今回皆さんにご指摘いただいた部分について、分析や反省を進めながら今後のよりよい番組作りに生かしていきたいと思っております。との回答がありました。